

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	まちづくり推進施設運営事業			
予算科目	7 款 1 項 6 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 商業の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線): 572	
記入者情報	所属長: 市野 孝敏		担当責任者: 大谷 基文	
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	JR伊予市駅前街の交流拠点『町家』管理運営事業			
根拠法令等	JR伊予市駅前街の交流拠点施設条例、(同)条例施行規則			
事業の目的	市民や伊予市を訪れる玄関口であるJR伊予市駅前に交流の場として、また、観光情報・地域情報発信拠点として「思いやりの手づくり交流市場」「まちづくりサロン」の大きな役割を果たしながら、中心市街地の活性化を図る。			
事業の内容	JR伊予市駅前街の交流拠点『町家』を核とした商店街の賑わいの回復と中心市街地の整備改善を行う。* 特産品の販売(地場産業の特産品の展示販売、鮮魚活魚販売、農林産物の即売)* 新規創業者育成テナントでの開業* 公園広場にて各種イベントの開催			
改善策の具体的な取り組み(当初)				
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	7,641	8,020	3,282	8,062
	人件費	1,591	1,930	965	1,930
	合計	0	9,950	4,247	9,992
人件費内訳	人工数	0.20	0.24	0.12	0.24
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,590	1,930	965	1,930
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,232	9,950	4,247	9,992

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
施設管理委託料	千円	6563	6564	3282	6564
「町家」レジ通過客数	人	285197	286000		291293

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	6,500	8,000	8,000	8,000	8,000	38,500

成果指標				
成果指標	JR伊予市駅前街の交流拠点『町家』におけるレジ通過客数による集客率の確認。			
指標設定の考え方	交流と情報発信拠点である「町家」に足を運んでくれ、しかも何らかの商品の購入してくれた来客者の数により、中心市街地の活性化に貢献できた指数の参考とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標22年度
目 標	280000	286000	292000	0
実 績	285197	291293	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	指定管理者である(株)まちづくり郡中の運営努力により、入込客及び売り上げも上がってきている。経年劣化等により、設備及び備品の故障や買い替えが必要になってきているので計画的に対処していかなければならない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	自己の課題認識のとおり、運営努力が見られるが、施設設備の老朽化が進んでいるため計画的に改修し、長寿命化を視野に入れた整備が必要と思われる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題